

エネルギー環境計画書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の氏名)	東京電力パワーグリッド株式会社 代表取締役社長 金子 禎則
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区内幸町1丁目1番3号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
都内供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電力) <input checked="" type="checkbox"/> 低圧(電灯)
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<東京電力ホールディングス株式会社> ・グループ経営管理 ・水力・新エネルギー発電事業 ・賠償・廃炉・復興推進等 ・原子力発電事業 <東京電力パワーグリッド株式会社> ・一般送配電事業 ・離島(島嶼地域)における発電事業等 <東京電力フュエル&パワー株式会社> ・火力発電事業(離島を除く) ・火力発電に係る燃料調達事業 ・資源開発事業等 <東京電力エナジーパートナー株式会社> ・小売電気事業 ・ガス事業等

(3) 担当部署

計 画 の 担 当 部 署	名称	東京電力パワーグリッド株式会社 業務統括室 法務・環境グループ	
	連絡先	電 話 番 号	03-6363-1309
		ファクシミリ番号	03-3596-8634
		電子メールアドレス	
公 表 の 担 当 部 署	名称	東京電力パワーグリッド株式会社 業務統括室 法務・環境グループ	
	連絡先	電 話 番 号	03-6363-1309
		ファクシミリ番号	03-3596-8634
		電子メールアドレス	

(4) エネルギー環境計画書の公表方法

公表期間		2018年08月01日 ~ 2019年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	本社本館1階打ち合わせスペース
		所在地:	東京都千代田区内幸町1丁目1番3号
		閲覧可能時間:	平日:9:00~17:00
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
		入手方法:	
<input type="checkbox"/> その他			

2 地球温暖化の対策の取組方針

東京電力グループ環境方針(抜粋)
 東京電力グループは、主体性を持って福島事業をやり遂げ、エネルギーの未来をつくり、自然や人に優しい健やかな社会を切りひらくため、事業活動のあらゆる局面において、環境に配慮した取り組みを進めます。

■低炭素社会への貢献
 CO2排出の少ないエネルギーの供給、再生可能エネルギー事業の展開、お客さまの省エネ支援、技術開発・普及等の低炭素ソリューションの提供を通じ、社会の低炭素化に貢献します。

■環境負荷の低減
 環境汚染等のリスク管理・対応の確実な実施、資源リサイクル等を通じ、環境負荷の低減と資源循環型社会の実現に貢献します。

■自然との共生
 地域の生態系の保全、影響の抑制に努め、生物多様性に配慮した社会づくりに貢献します。

3 地球温暖化の対策の推進体制

■東京電力グループでは、環境戦略会議を設置し、グループ全体の環境経営戦略の総合的な推進、目標の設定、チェック&レビューの充実を図ることとしています。

■また、各組織形態に応じ、環境法令の遵守や環境負荷の低減、環境パフォーマンスの着実な向上など、多様な事業活動における環境面の諸活動を的確に管理するための環境管理体制を構築しております。

4 特定エネルギーの供給に伴い排出される温室効果ガスの量(1kWh当たり)の抑制に係る措置及び目標
 (1) CO₂排出係数の削減目標(全電源のCO₂排出係数)

(単位 kg-CO₂/kWh)

項目	当年度のCO ₂ 排出係数	次年度のCO ₂ 排出係数	長期的目標年度のCO ₂ 排出係数
当年度の計画における目標値	0.713程度	極力低減	極力低減
前年度の計画における目標値	-	-	-

長期的目標年度: 2030年度

(目標設定に係る措置の考え方)

※上表は、東京電力パワーグリッド株式会社の島嶼供給の目標を記載しております。

■東京電力パワーグリッドでは、再生可能エネルギーの活用、島嶼内燃力発電設備の更新等を通じて、排出係数の低減に努めてまいります。2018年度は、父島内燃力発電所3号機及び八丈島内燃力発電所4号機を更新する計画があり、長期的に見て省エネルギーを図ると共にCO₂排出量の低減に努めてまいります。

■尚、当年度の目標値については、島嶼供給の2017年度実績値を記載いたしました。

第1号様式 その3

5 再生可能エネルギーの供給の量の割合の拡大に係る措置及び目標

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の量の割合の拡大に係る措置及び目標

項目	当年度の利用量		次年度の利用量		長期的目標年度の利用量	
	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)
当年度の計画における目標値	10,477程度	6.54%程度	極力活用	-	極力活用	-
前年度の計画における目標値	-	-	-	-	-	-

長期的目標年度： 2030 年度

(目標設定に係る措置の考え方)

※上表は、東京電力パワーグリッド株式会社の島嶼供給の目標を記載しております。

■固定価格買取制度への協力も含め、東京電力グループとして再生可能エネルギーの普及促進に向けて積極的に取り組んでまいります。

■尚、当年度の目標値については、島嶼供給の前年度(2017年度)実績を記載しています。

6 その他地球温暖化の対策に関する事項

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給の量の割合の拡大に係る措置及び目標

項目	当年度の利用量		次年度の利用量		長期的目標年度の利用量	
	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)	利用量 (千kWh)	利用率(%)
当年度の計画における目標値	極力活用	-	極力活用	-	極力活用	-
前年度の計画における目標値	-	-	-	-	-	-

長期的目標年度： 2030 年度

(目標設定に係る措置の考え方)

※上表は、東京電力パワーグリッド株式会社の島嶼供給の目標を記載しております。

■未利用エネルギー等の利用については、前年度実績がないため、目標値を極力活用と設定しております。

■固定価格買取制度への協力も含め、東京電力グループとして再生可能エネルギーの普及促進に向けて積極的に取り組んでまいります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置及び目標

- 島嶼内火力発電所では、電力需要の変動を随時監視し、燃料消費率の良い運転となるような最適な機関の組み合わせでの運転実施による継続的な効率の向上を図るよう努めています。
- 島嶼内火力発電設備の定期点検手入れの実施による性能維持に努めています。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化対策の働きかけに係る措置

- 東京電力グループでは、ホームページ内のコンテンツである「でんき予報」による需給情報の見える化や「電気の手順な使い方」による家電のご使用方法の紹介をはじめ、ご家庭向け会員サイトである「くらしTEPCO」や法人・事業用のお客さま向け会員サイトである「ビジネスTEPCO」などで省エネ情報の提供などを積極的に行っています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

- 事務所建物において、空調設定温度28℃(夏季)及び19℃(冬季)の徹底、夏期、冬期以外の期間の冷暖房運転停止による換気のための運転の徹底、クールビズ、ウォームビズの実施、事務室照明の60%以上消灯、エレベーターの間引き運転などの節電対策を実施しています。